

第4回富田林市水道事業ビジョン策定委員会議事録

日時 平成28年10月31日15:40～17:40

場所 富田林市消防本部4階会議室

【出席者】

委員 神子委員長、笠原委員、阪井委員、今澤委員
富田林市 阪本部長、鶴谷次長、山際次長、西端課長、香川参事、北野課長代理、岩崎課長代理、大津主幹、中野係長
日水コン 武石氏、瀬川氏

【議題】

- ① 富田林市水道事業ビジョン素案
- ② 富田林市水道事業ビジョン【概要版】
- ③ 今後の予定

【配布資料】

資料1 富田林市水道事業ビジョン素案
資料2 富田林市水道事業ビジョン【概要版】

【質疑応答及び意見】

1. 水道事業ビジョン素案について

- [委員] 第6章の本文の体裁も体系図やスケジュールと同様に、安全、強靱、持続で色分けする方が、目標との関連がわかりやすいのでは。
- [事務局] そのように修正する。
- [委員] p116以降の業務指標一覧表の一部に網掛けがあるが、どのような意味があるのか。
- [事務局] 浄水場別に算出したものを網掛けしているが、特に作業上の都合によるものであり、最終的には網掛けをとることとする。
- [委員] p18以降に示している経営状況には下水道事業の分は含まれていないと考えて良いか。
- [事務局] 水道事業のみであり、下水道事業の分は含まれていない。
- [委員] p18のグラフで平成26年に収益的収入のその他収益が大きく増加しているが、その説明がない。
- [事務局] 平成26年度の会計制度の見直しにより、長期前受金戻入額を計上しているため増加している。これについては本文中に説明を加えることとする。
- [委員] みなし償却制度の廃止によって、減価償却費が増加するのはなぜか。
- [事務局] 会計制度が見直される前は、事業費のうち補助金や工事負担金等で充当した分は、減価償却費として計上しなくてもルール上認められていたが、会計制度の見直しにより、これらで充当した分も減価償却費として計上することになったためである。みなし償却については、巻末

の用語集に追加することとする。

- [委員] p19 の上のグラフについて、凡例との対応がわかりにくい。引当金や薬品費の部分が見えない。
- [委員長] 引当金と薬品費は、その他にまとめた方が良いのでは。
- [事務局] 引当金と薬品費は額が小さいため、そのように修正する。
- [委員] p19 の下のグラフにある注書きは不要と考える。
- [事務局] 注書きは削除する。
- [委員] p20 の水道料金の数値が、水道料金表と異なるがどうか。
- [事務局] 水道料金表は2ヶ月分の料金を示しているが、ここでは1ヶ月あたりの水道料金を整理している。
- [委員] p26 の図の文字が小さくてわかりにくい。また、全編を通して p27 の図のみ横配置となっているため、これも縦配置にした方がよいのでは。
- [事務局] p26、p27 の図を修正する。
- [委員長] p28 の図について、1、3、4号井の送り先が曝気塔か着水井か、または両方なのかわかりにくい。
- [事務局] 通常は4号井のみ曝気塔を通して、1号井と3号井も曝気塔を通るルートがある。図を修正する。
- [委員] p63 の関係機関が藤井寺保健所のみ表記されているが、大阪広域企業団との連携はないのか。
- [事務局] 自己水だけではなく、企業団の水も利用しているため連携は必要と考える。
- [委員長] p64 の数値目標の表現は適切か。
- [事務局] きちんとした算出根拠の基で数値を導くことが困難であり、また、大阪広域水道企業団から受水する水の残留塩素濃度が 0.6mg/L から変わらないのであれば、この目標をクリアすることも難しいと言える。数値目標から外す方向で検討する。
- [委員] p66 に鉛製給水管の取替の要請とあるが、要請とは具体的にどのようなものか。
- [事務局] 給水管は個人の財産であるため、お願いするレベルとなる。
- [委員長] p72 の具体的取組に、数値目標の内容に合わせて、自己水または企業団のどちらかが供給停止になっても、ある程度の供給が可能であることを明記してはどうか。
- [事務局] そのような内容を追記する。
- [委員] また、現状の内訳から単純に目標値を計算するとそこに示している数値にはならないため、注釈に算出根拠を加えてはどうか。
- [事務局] 目標値では将来の一日平均給水量の減少などを考慮している。注釈を加える。
- [委員] p75 に甲田浄水場の水処理施設や低区・喜志配水池を廃止する方針との記述があるが、同様な記述が p50 にも p67 にもあるため、p50 で説明した後の頁は「p50 参照」としてまとめた方が良いのでは。
- [事務局] そのように修正する。
- [委員] p75 の具体的取組について、どこまでが「水道事業財務及び事業計画」で検討されたもので、どこからが今後検討するものなのかわかりにくい。

- [事務局] 基本的に、全てについて「水道事業財務及び事業計画」で検討しているが、より具体的な検討を要するものもある。表現の見直しを検討する。
- [委員] p75 に、1つの文に施設の高低差と給水圧の高低差があるが、例えば給水圧の方を高低差ではなくばらつきとしてはどうか。
- [事務局] そのように修正する。
- [委員] p76 の数値目標として設定した料金収納率が 100%とならない理由は何か。
- [事務局] 決算時点では、3月調定分が納入されていないためである。
- [委員] これを目標として設定するのであれば、そのことを明記するほうが良い。
- [事務局] 注釈として明記する。
- [委員] p80 の数値目標として設定したアクセス回数は適切なのか。更新回数ではどうか。
- [委員] 更新回数とすると、双方向のコミュニケーションとは言えなくなるのでは。
- [事務局] これを目標として設定することや、その目標値も充分なのかどうか判断しにくい面もあることから、数値目標から削除する。
- [委員長] 水道モニター制度については、実施する予定はあるのか。
- [事務局] 今後検討する。
- [委員] 水道事業ウェブサイト問合せフォームのようなものは、あるのか。
- [事務局] 問合せフォームは用意していないが、メールでの問合せは可能である。

2. 水道事業ビジョン概要版について

- [委員長] パソコンの画面上で表示することも考慮して、A4サイズの4枚程度にまとめてはどうか。
- [事務局] そのような構成で再作成する。
- [委員長・委員] 吹き出しの中の観点が、持続、安全、強靱の順となっており、これまでと順序が異なるため修正する必要がある。
- [事務局] 修正する。
- [委員長] 水需給の将来見通しのグラフについて、内容がわかりにくい。
- [事務局] 凡例の見直しやタイトルの追加などグラフを修正する。
- [委員長] 財源の確保策の1つに料金改定も含むことを加えてはどうか。
- [事務局] 記述に加える。
- [委員長] この概要版を広報紙に折り込むことは考えているのか。
- [事務局] 今後検討する。
- [事務局] ウォーターパッカーは商品名であるため、今後使用しないこととする。

3. 今後の予定

- [事務局] 本日の意見に基づき、ビジョンと概要版を修正次第、各委員に説明に伺う。
- [事務局] 水道事業ビジョンの公表に合わせて、水道事業財務及び事業計画も公表することを予定している。